



社労士のつぶやき 54 医療情報の一元化？

先日、健康をテーマにしたセミナーに参加しました。講師は、ある1万人規模の地方自治体に係わったことがあり、地域内の2つの公的病院の医療情報を統合する作業に取り組んだ経験を語ってくれました。救急車で運ばれたとき、名前と生年月日を入力すると車内にある端末機で患者の過去の健康診断や医療データを隊員が見られるようになると、地域内の多くの人命が救える。「あと一分早ければ、過去の病歴が分かれば適切に対処出来たのに」という想いから、医療情報の統合に力を注いだのです。結局、病院の一つが最後まで電子カルテ化を拒み、構想は頓挫してしまっただけなのですが、もちろん、「私の体重を何で他人に教えなあかんの！」等々、プライバシーの問題で猛烈な抗議を受けるのは必至でしょうが、確かに医療情報を一元化し、過去の入・通院歴や健康診断の結果を医療従事者が確認できれば、人々が健康に暮らせるようになり、重病にならずに医療費も削減でき、高額な「紹介状」も必要なくなります。

そのセミナーを受けた数日後、厚生労働省が個人の健康情報について一元管理することを発表したのが驚きました。健康保険番号は、転職するたびに切り替わります。「基礎年金番号があるじゃないか」と質問されそうですが、あれはあくまで年金保険の番号であり、健康保険ではありません。転職したり、扶養家族になったり、国民健康保険に切り替わったりと、人生で係る公的保険はしょっちゅう変わります。そして病院も変わるため「一人の医療情報」を一元化するのは困難な作業です。個人が日常的にそれを求められるケースはめったにありませんが、前述のように救急で病気になった場合などには、確かに便利な情報なのでしょう。

厚労省はこれまで転職等のたびに変わっていた個人の健康保険番号を、19年度から一人ひとりに割り当てて、新たな保険証を発行するそうです。これで一元化が進められ、便利になるそうですが、待て待て！じゃあ、マイナンバーはどうなるの？そもそもマイナンバーも医療情報の一元化を目指していたはずなのに。そして健康保険番号が導入されれば、従業員が入社したときに基礎年金番号に加えて健康保険番号、さらにマイナンバーも書いて手続きしなきゃならなくなるの？おいおい、仕事を増やさんといてよ・・・。

社労士事務所アジュール 高 龍弘

燃料カードの価格表【2017年12月分】

AMSカード ※共通利用可能

油種	ENEOS・Shell・COSMO
レギュラー	129円
ハイオク	139円
軽油	108円

【価格は税抜】

ENEOSビジネスカード

油種	ENEOS
レギュラー	134円
ハイオク	144円
軽油	112円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	出光・ENEOS・COSMO	宇佐美	鈴与 (ENEOSウイング)
レギュラー	130.7～132.7円	130.7～132.7円	130.7～132.7円
ハイオク	140.7～142.7円	140.7～142.7円	140.7～142.7円
軽油	110.7～112.7円	110.7～112.7円	110.7～112.7円

【価格は税抜】